

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年10月3日

ファイザービオンテックワクチン有効性は接種完了から4か月後に96%から84%に低下:ファイザー社報告

【松崎雑感】

ファイザーワクチンの3度目の接種(ブースター接種)が必要かどうか論議されていますが、ワクチンが有り余っているならば、ブースター接種をした方が良いのは当たり前です。しかし、ワクチン接種率の低い多くの国々を放置して、高所得国だけブースター接種をすることは、変異株の発生を助長することにつながります。「今だけ、自分だけ」の考え方が、まわり回って、「自分」の首を絞めることになると思いませんか？

ファイザービオンテックワクチン有効性は接種完了から4か月後に96%から84%に低下：ファイザー社報告

Mahase E. Covid-19: Pfizer vaccine's efficacy declined from 96% to 84% four months after second dose, company reports. **BMJ**. 2021 Jul 30;374:n1920. doi: 10.1136/bmj.n1920. PMID: 34330713.

ファイザー社の投稿したプレプリント論文によれば、ファイザービオンテックワクチンの有効率は、2回接種から7日後～2か月後で96.2%だが、4か月後では83.7%だったという[1]。

このワクチン有効率は2か月ごとに6%低下するということになる。研究者らはブースター接種（つまり3回目の接種：松崎）の長期的効果を追跡するトライアルが進行中であると語っている。

イングランドでは、新型コロナ感染に最も弱い人々を対象に9月からブースター接種を行なう予定とされている[2]。

今回のトライアルには、アメリカ、アルゼンチン、ブラジル、南アフリカ、ドイツ、トルコの16歳以上の4万4千人が参加した。

参加者の半数にファイザービオンテックワクチン、半数にプラセボ(生理食塩水)を投与した。

アメリカの12～15才の人々2200人も参加し、同様に実薬とプラセボが投与された。

論文では、肥満や基礎疾患の有無にかかわらず、年齢、性別、エスニシティなどにかかわらず、2回目接種直後には86～100%の有効率が示されたと述べている。

北米、欧州、南アフリカ、南米で同様な高い効果が示されたという。

有害作用

実薬投与群で食欲不振、倦怠感、脱力感、寝汗、多汗症などが出現したが、全体として、トライアル中止を要するような重篤な副作用はみられなかったという。

投与薬秘匿期間中に、実薬群で15名、プラセボ群で14名が死亡した。

オープンラベル(受けた薬剤が実薬かプラセボかを通知し、プラセボ群の希望者に実薬を投与する仕組み)後にファイザービオンテックワクチン投与群から3名、ファイザービオンテックワクチン実薬投与を希望して接種して人々から2名死亡が発生した。(結局実薬群20名、プラセボ群14名の死亡となる:松崎)

研究チームは、これらの死亡がワクチン接種によるものではないとの結論を述べている。

研究チームは、このワクチンが無症状感染を防ぐことができたかどうかについては、検討していない点をリミテーションとしている。